



寺本隆幸氏は、協会の設立者で、創立時より現在にいたるまで 20 年間にわたり、免震のパイオニアとして免震構造の普及・推進に尽力され、日本免震構造協会の活動と発展に貢献されました。その功績は極めて顕著であり、ここに、功労賞を贈ることになりました。

## 主な経歴

1966 年日建設計入社、新宿高層ビルの草分け的存在でもある、新宿住友ビル（三角ビル）などを構造設計し、31 年間、設計者として活躍された。1997 年からは、東京理科大学の教授になられ、教鞭をとられた。

## 主な構造設計作品

- 朝日東海ビル（29 階）
- 新宿住友ビル（52 階）
- 新宿 NS ビル（30 階）
- 千葉ポートタワー（125m）
- 日本電気本社ビル（43 階）

## 主な功績

規格化・標準化委員会委員長として、「JSSI 規格」「免震建築の設計とディテール」を発刊された。「JSSI 規格」は、後の免震装置の技術基準の基となりました。

「免震建築の設計とディテール」は、建築家に変大好評で、多くの免震建築物に採用されています。

また、長年にわたり理事として、性能評価／材料性能評価委員会委員長としてもご尽力いただきました。寺本氏は、理論派で幅広い人脈があり、“熱い情熱”をもって我が国のみならず海外でも実績を残され、世界の地震国での免震構造技術の発展と普及・推進にも尽力されました。



竣工 30 周年を迎えリニューアルした新宿 NS ビル  
(設計した建物がこのように元気だとうれしいものである。)



設計協力したインドネシア・スマトラ島・パダンの基礎免震建物  
(手前のスロープは建物に接しているため、切り離しを要請してきた。)



インドネシア・スマトラ島・パダンの免震構造のホテル  
(インテリア工事中)  
(アイソレータをガラス越しに見せているおおらかさが良い。)